

第 16 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 5 年 8 月 28 日（月）
18 時～19 時 30 分
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨拶

3 新構成員・新事務局員自己紹介

4 会議事項

(1) 第 15 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) NSDプロジェクトについて

(3) 「学際領域に関する学科」について

5 その他

第 17 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】11 月～12 月の開催を予定

【会場】未定

6 閉 会

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○ = 新構成員

区分	氏名	所属等
自治体	○畠山 啓二	佐久市 副市長
	吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
	○榊 祐史	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
産業界	坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
	渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
	白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
学識経験者	堀内 ふき	佐久大学 学長
地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
	○原 啓明	佐久地域振興局 局長
同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
	○長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
PTA	木内 良夫	野沢北高等学校PTA 会長
	○山越 あゆみ	野沢南高等学校PTA 会長
	竹内 由貴	全佐久PTA連合会 副会長
学校関係者	○小林 新治	佐久中学校長会 会長
	森泉 雄二	佐久小学校長会 会長
再編対象校	石井 勇多	野沢北高等学校 生徒会長
	木内 夏乃	野沢北高等学校 生徒会副会長
	寺澤 恵美	野沢北高等学校 生徒会副会長
	金 棟鎬	野沢南高等学校 生徒会長
	小林 笑奈	野沢南高等学校 生徒会副会長
	佐藤 佳乃	野沢南高等学校 生徒会副会長
	柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
	山下 純一	野沢北高等学校 教諭
	○中村 信秋	野沢南高等学校 校長
	○臼田 賢治	野沢南高等学校 教諭

事務局

○ = 新事務局員

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
○野村 雅幸	(教頭)・事務局長	橋爪 俊彦	(教頭)・副事務局長	○柳澤 弘蔵	主幹指導主事
山下 純一		○臼田 賢治		○有坂 清明	主任指導主事 (佐久新校担当)
白石 克典		○市川 尚智		○井出 敦	主任指導主事 (佐久新校副担当)
神岡寿賀子		○渡邊 武志			
清水 貴弘		山口 達之			

第15回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和5年(2023年)3月20日(月) 18時00分~19時00分
場所	オンライン(野沢北高等学校同窓会館)
出席(敬称略)	吉岡道明, 花里英一, 茅根健司, 渡辺仁, 白鳥敬日瑚, 堀内ふき, 廣末恵子, 高橋功, 吉岡徹, 中島瑞枝, 木内良夫, 竹内由貴, 神津かずみ, 森泉雄二, 石井勇多, 木内夏乃, 寺澤恵美, 金棟鎬, 小林笑奈, 柳沢敬, 山下純一 以上19名
傍聴者	8名(報道2社)
事務局	野沢北高校: 石川教頭(事務局長), 白石教諭, 清水教諭 野沢南高校: 橋爪教頭(副事務局長), 県教育委員会: 宮澤推進室長, 堀田企画幹, 有坂主任指導主事, 柳沢主任指導主事
当日資料	○次第, 第14回懇話会まとめ, 佐久新校(仮称)再編実施基本計画, 佐久新校学びのイメージ, 議会同意後のスケジュール

会議事項

- (1) 第14回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 再編実施基本計画について
- (3) 今後のスケジュールについて

主な内容(要旨) ⇒県教委

<前回の懇話会における「スクールバスの要望について」>

⇒県と市との間で通学に係るバスを含む公共交通との利便性を相談し検討していく

<再編実施基本計画について>

⇒令和5年(2023年)1月16日 県教育委員会定例会決定資料を基に説明。

- 1 再編統合対象校: 野沢北高等学校、野沢南高等学校
- 2 募集開始年度: 令和11年度
- 3 活用する校地・校舎: 野沢北高等学校
- 4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数:
全日制課程 学際領域に関する学科 8学級程度
定時制課程 普通科 1学級
- 5 学びのイメージ: 別紙
- 6 施設設備新校の学びに必要な施設整備及び高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し、質的向上を図っていく。施設整備に要する期間6年程度。

<今後のスケジュールについて>

議会同意後の大まかなスケジュールの説明。小諸新校を例に説明。

[質問]

○統合方法はどのように考えているか。

⇒懇話会等で統合方法について説明し、意見交換をしながら検討していく。

○校名の募集はどのように行うか。

⇒募集や選考方法等、両校のワーキンググループを中心に検討して懇話会に提案する。

[意見・要望]

○新校について、小中学生やその保護者等の地域住民への広報はどう考えているか。

⇒新校HPの立ち上げ、校長会での説明など発信方法についても意見募集を行う。

○小中学生やその保護者がワクワクするような、動画による説明などの広報も検討してほしい。

○(生徒代表)佐久新校に対する期待感はある。積極的な情報発信をしてほしい。

○具体的なカリキュラムを見て考えられるようにしてほしい。

NSDプロジェクト 佐久新校施設整備の経緯と今後の予定について

高校教育課

県教委

学校(職員・生徒)

6月23日 プロポーザル公告

7月4日 現地説明会

プロポーザル参加希望者が参加(22社36名)
新校の説明と学校施設や周辺環境等の視察を実施

7月11日 参加表明締切

23者が参加表明

8月1日 審査委員現地視察

新校の説明、学校施設や周辺環境等を委員3名が視察

8月20日 一次審査(非公開) 都道府県会館にて

二次審査参加者 6者を選考

9月30日 二次審査(公開) 岳南会館を予定

二次審査参加者によるプレゼンと審査委員のヒアリング
*懇話会構成員の皆様はぜひご参加ください

10月上旬 最適候補者等決定

11月 委託契約締結

受託事業者(パートナー)によるワークショップ開催

契約業者と新校における学び・生活風景等を共有、先行事例等を学びながら新校の施設整備について意見交換。学校職員・生徒対象と地域対象の2つのワークショップをそれぞれ複数回開催する予定。

(予定) 懇話会内に専門会議設置(NSD会議)

「施設整備基本計画」策定のために懇話会内に専門部会を設置して、意見交換をお願いする。次回懇話会にて詳細を説明し、承認をいただく予定。

WG(ワーキンググループ)による検討
・教育課程 ・施設整備 ・部活動
などをより具体的に

令和5年

令和6年6月 基本計画策定

令和7年度～ 基本設計、実施設計、工事

令和11年度 開校

夢のある未来社会を地域と共創する「知」の探究校

目指す学校像

- 高い志の進路を実現し、地域・日本・世界に貢献する人を育む
- 新時代を切り拓く「創造力」と「探究心」を育む
- 他者との協働により、多様な価値観を共有し、豊かな人間性を育む

学際領域に関する学科

確かな学力と教養を獲得する単位制

- 文理融合のリベラルアーツ的な学び
- 探究を核としたダイナミックな学び
- 大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目や多彩な校外学習等により探究の基礎・基本を習得

2～3年次：単位制の自由度を最大限活用して「自らの学びをデザイン」

理数科学選択群



人文科学選択群

- ◇ 選択群を中心に、個々の興味関心により主体的に科目選択
- ◇ 学校内外の自主的・創造的な活動による単位取得
海外留学、資格取得、大学の講義を受講、地元企業との共同研究 など
- ◇ 多様な地域資源を活用したグローバルな探究活動
- ◇ 生徒の活動に伴走するアカデミックサポーター（OB・OG）との連携
- ☆ 医学部・デジタル系の大学や海外の大学への進学など、生徒が希望する多様な進路実現を目指す



佐久エリア共学共創コンソーシアム
多様な人々と協働し、地域の未来社会を共創するコミュニティ



大学

医療機関

地元企業

自治体

研究機関



◆定時制課程 普通科（単位制）：3年間での卒業や全日制の授業を履修可能とする新システム◆

佐久新校再編実施計画懇話会資料 「学際領域に関する学科」

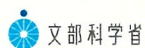


学び応援キャラクター「登壇なび助」
©長野県教育委員会登壇なび助

令和5年（2023年）8月28日
高校再編推進室

1

「新たな普通科」登場の背景



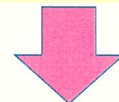
文部科学省

これからの高等学校教育について

令和2年11月25日

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）

中央教育審議会の新しい時代の
高等学校教育の在り方ワー
キンググループの審議まとめ
～多様な生徒が社会とつながり、
学ぶ意欲が育まれる魅力ある
高等学校教育の実現に向けて～



高校教育を取り巻く現状と課
題を認識したうえで、改革の
方向性を示す

文部科学省HPより (https://www.mext.go.jp/content/20201124-mxt_koukou02-000011165_03.pdf)

2

「新たな普通科」登場の背景

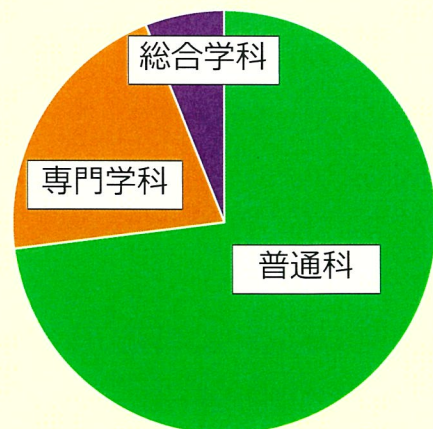
高校の現状・課題	現状を踏まえた改革の方向性
進学率が99%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な生徒が在籍していることを前提とした教育活動 ・ 共通性の確保、多様性への対応
高校生の学校生活の満足度や学習意欲が、中学校段階から低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生徒を主語にした」高等学校教育の実現 ・ すべての高等学校で特色・魅力ある教育を実現

3

「新たな普通科」登場の背景

全国の高校の学科と生徒割合
(2022年度)

普通科	73.6%
専門学科	21.0%
総合学科	5.4%



4

「新たな普通科」登場の背景

普通科の課題

1 一斉的・画一的な学びの印象がある

教育内容に大差がないと考える

➡だから偏差値で高校を選ぶ

2 特定の教科について十分に学習しない傾向

この教科・科目は進路に必要ないと考える

➡だからその教科・科目への意欲が薄れる

5

「新たな普通科」登場の背景

課題解決の方策

「一斉的・画一的な学び」に対して

- ・各校の学びの特色化・魅力化の推進
- ・各校の取組の可視化

特色・魅力ある教育内容を表現する名称を学科名とすることを可能に

「特定の教科を十分に学習しない」に対して

現代社会や国際社会における問題はいわゆる文系・理系で区別できるものではない

総合的な探究の時間を軸に教科等横断的な学びに取り組み多様な分野の学びに接する

「新たな普通科」の設置

6

文部科学省による「新たな普通科」の例示

学際領域に関する学科

- ・特定の分野だけでは解決できない現代の諸課題に対応するために学際的複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに取り組む
- ・地域社会、国家、国際社会という枠組みも超える**ボーダレスな課題**に取り組む

地域社会に関する学科

- ・高等学校が立地する地元自治体を中心とする地域社会が抱える諸課題に対応
- ・現在及び将来の**地域社会が有する課題や魅力に着目**した実践的な特色・魅力ある学びに取り組む

その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

- ・当該高等学校のスクール・ミッションに基づく特色・魅力ある学びに取り組む
- ・その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む

7

「新たな普通科」の学び

教室内の学び
(従来の普通科)

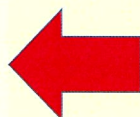


現場での学び

- ・課題の現状を目の当たりにする
- ・課題解決に取り組む社会人に学ぶ

関係機関との連携・協働

- ・コーディネーターの配置
- ・学校運営協議会の設置
- ・コンソーシアムの構築



- ・地元市町村
- ・高等教育機関
- ・NPO法人
- ・地元企業

学びを共に創る
「共創」

8

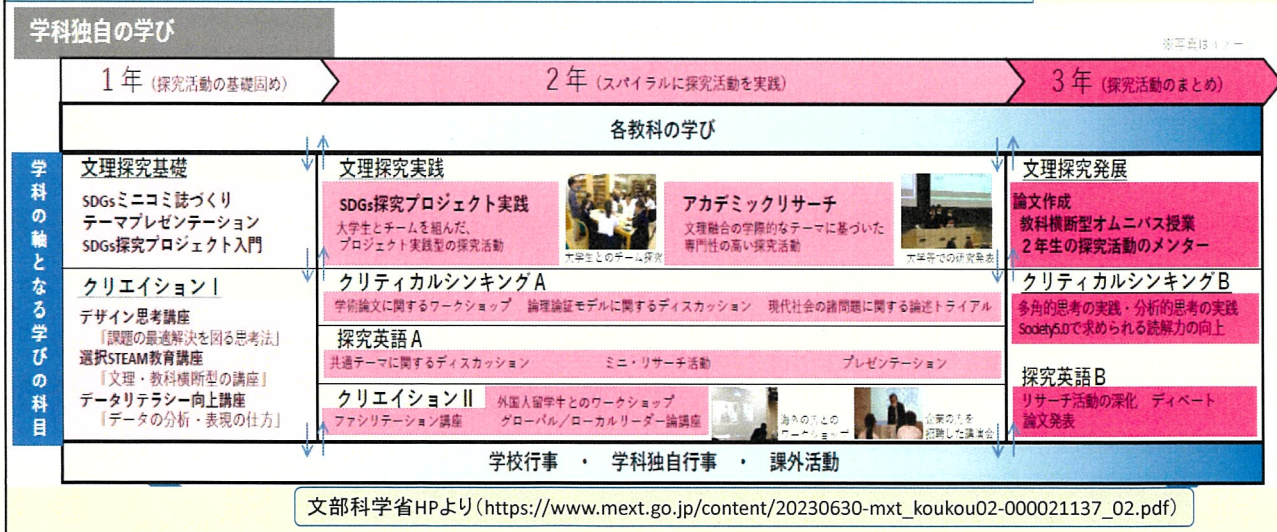
「新たな普通科」の要件

- 1 各学科の特色等に応じた目標及び内容を定めた学校設定教科を設置、当該科目をすべての生徒が履修
(単位数は2単位を下らない)
- 2 上記1と総合的な探究の時間での履修単位の合計は6単位を下らない
- 3 学校設定教科・科目と総合的な探究の時間を相互関連させ、原則として各年次にわたり履修

9

全国の「学際領域に関する学科」

兵庫県立御影高等学校「文理探究科」 令和6年度開設



10

全国の「学際領域に関する学科」

兵庫県立御影高等学校「文理探究科」

- 普通科推薦入学者で構成される総合人文コースを「文理探究科」に改編
 - 「人文・社会科学」的なアプローチだけでなく「自然科学」的なアプローチもしながら文理融合的に探究に取り組む
 - 特徴的な授業
 - 文理探究：探究に関する課題設定や、その解決に向けたアプローチ方法について、文理融合の視座に立ち、探究活動に取り組む
 - クリエイション：外部講師による授業により、探究に活かせる知識をビルドアップ
 - クリティカルシンキング：読解力、論理的思考力、対話力、表現力を磨く国語の内容に加え、探究活動に必要なスキルや思考を学ぶ
 - 探究英語：ローカルな課題をグローバルな視点で捉える力や、その課題を英語で議論し意見表明できる力を育成
- <御影高校ホームページ> <https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/mikage-hs/NC3/>

11

全国の「学際領域に関する学科」

北海道釧路湖陵高等学校「文理探究科」 令和6年度開設

高き希望を湖陵で実現

のぞみ
生徒の多様な学習ニーズに応えます。

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、

国内外の大学や国際機関、企業等による「コンソーシアム」を設置し、



北海道
釧路湖陵
高等学校

【文部科学省指定】
スーパーサイエンスハイスクール事業
新時代に対応した高等学校改革推進事業

【北海道教育委員会指定】
地域を支える人づくりプロジェクト事業
(医進類型指定校)

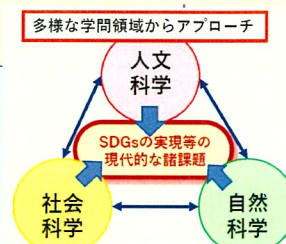
釧路湖陵高校新学科設置
告知ポスター

12

全国の「学際領域に関する学科」

北海道釧路湖陵高等学校「文理探究科」

- ・コンソーシアムの支援のもと、学際的な分野に関する学校設定教科に関する科目と、「総合的な探究の時間」や各教科・科目を有機的に結び付けた探究的な学習を重視
- ・学校設定科目「探究基礎」「探究ゼミ」等の開設
- ・大学等との連携による「出前授業」「講義の受講」「講演会」等を実施
- ・企業等と連携した合同研究や商品開発等の実施
- ・自治体等と連携した施策改善に向けた提案等の実施
- ・学習成果を発表する「探究サミット」の実施



文部科学省HPより (https://www.mext.go.jp/content/20230630-mxt_koukou02-000021137_02.pdf)

- ・ <釧路湖陵高校ホームページ> <http://www.koryo946.hokkaido-c.ed.jp/>